

# 福島第一原子力発電所現地確認報告書

## 1 確認日

令和元年11月19日（火）

## 2 確認箇所

- (1) 1号機原子炉建屋西側（窒素ガス供給設備、廃液サージタンク）
- (2) 増設多核種除去設備

## 3 確認項目

- (1) 窒素ガス供給設備及び廃液サージタンク撤去前の状況
- (2) 増設多核種除去設備薬液注入口における塩酸漏えいの再発防止対策

## 4 確認結果の概要

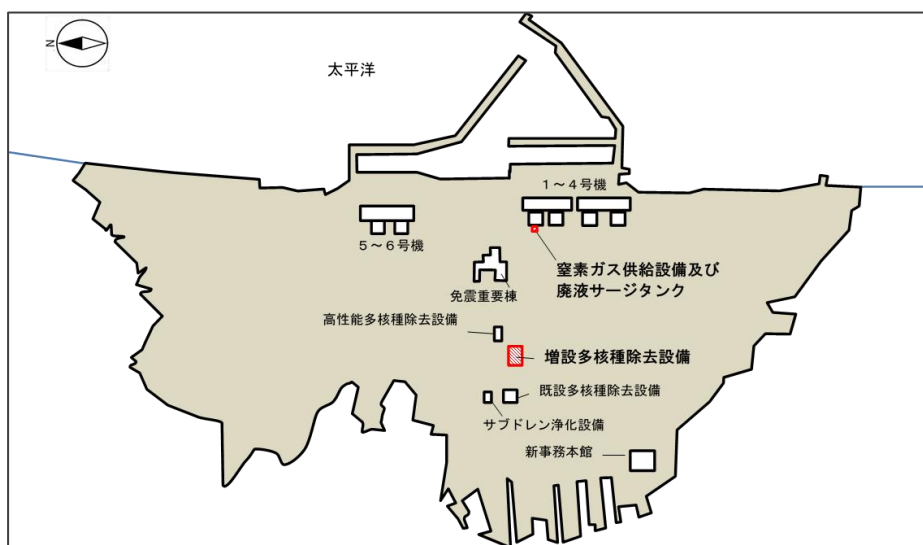
- (1) 窒素ガス供給設備及び廃液サージタンク撤去前の状況について

1号機燃料取り出しに向けて、1号機原子炉建屋周辺の整備工事が予定されており、窒素ガス供給設備<sup>※1</sup>及び廃液サージタンク<sup>※2</sup>が作業に干渉するため、当該設備の撤去が計画されていることから現状を確認した。なお、当該設備は震災後使用されていない。（図1、図2）

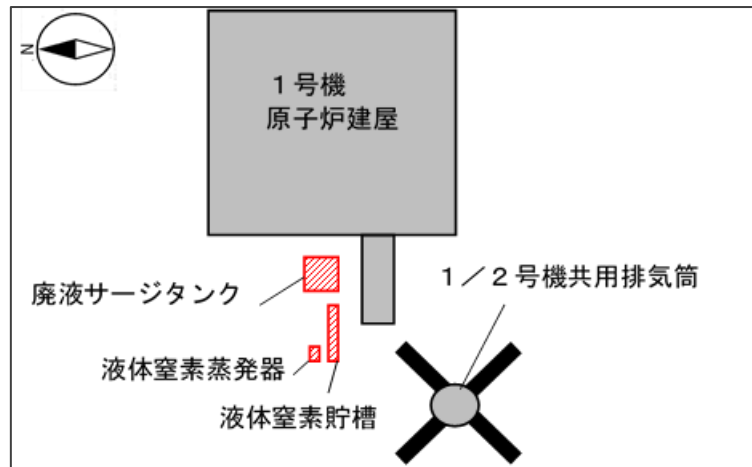
- ・当該設備は1号機原子炉建屋西側に位置しており、設備の撤去作業は準備作業も含めて開始されていなかった。（写真1）
- ・東京電力によると、当該箇所は高線量エリアであることから、遠隔操作設備（750トンクローラークレーン）の利用による被ばく低減や遮へい設置による作業環境の改善等を実施するとのことであった。

※1 窒素ガス供給設備：原子炉格納容器内に窒素を供給する設備

※2 廃液サージタンク：液体廃棄物処理施設で処理された処理済水を貯留する設備



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 1号機原子炉建屋西側詳細図



(写真1-1)

1号機原子炉建屋西側の状況



(写真1-2)

液体窒素貯槽周囲の状況



(写真1-3)

液体窒素蒸発器周囲の状況



(写真 1 - 4)

廃液サージタンク周囲の状況

(2) 増設多核種除去設備薬液注入口における塩酸漏えいの再発防止対策について

10月24日、増設多核種除去設備の薬液注入口からタンクローリを用いて塩酸を受け入れる作業をしていた際に、10%塩酸約100Lが流出し、排水溝に流れ込む事象が発生した。再発防止対策を実施した上で作業が再開されていたことから、現場の状況を確認した。(前回確認:[10月25日](#)) (図1)

- ・再発防止対策として、薬液注入口下に受けパンが設置されるとともに、薬液注入口に塩酸飛散防止用のビニール養生が取り付けられていた。(写真2)
- ・万が一、塩酸が漏れた場合に付近の排水溝に入らないようにゴムマットで排水溝が養生されていた。(写真3)



(写真 2 - 1)

塩酸受け入れ作業の状況



(写真 2 - 2)

薬液注入口の状況



(写真3)  
排水溝の養生の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。